

業況レポート

平成25年1月期

製造業

- ◇パン…様々な努力はしているが、思うように売上等が伸びず、年々減少傾向となっている。
- ◇酒…12月の課税移出数量は前年比96.8%に止まり、昨年8月以降前年を上回ることが出来ず苦戦。焼酎乙類は11月113%、12月98.8%と持ち直す気配。原料米の不安定な供給で清酒出荷が計画的に進まない蔵元もある。市場環境も完全に上向いていないが、輸出への取り組みに積極性がうかがえる。3/23(土)に「新酒を啣く会」を水戸市内で開催する予定。
- ◇納豆…野菜類の高騰で、納豆の出荷は昨対比微増。業界としては特に大きなニュースもなく過ぎた感じ。今後の不安要素は、円安により光熱費や原材料の値上げが見込まれること。
- ◇菓子…前半は和菓子の売上が良く、順調に伸びると思ったが、その後荷動きが鈍り、売上も伸びず、全体的に見ると景況は弱含みであった。
- ◇繊維製品（袋物）…新年がスタートし、政権交代で先行き明るい兆しが見られる。最終的には加工代・人件費アップが望まれる。
- ◇繊維製品（縫製）…稼働日数の減少により売上高は前月比マイナス。需要も前年並みで、残業も大幅に減少。
- ◇木材…プレカット工場は昨年9月頃から需要が台頭し11月にピークを迎えたが、年末も比較的忙しい状態が続き越年。新年を迎えても同様の傾向が続いているが、大手住宅メーカーが中心で、地場の工務店は動きが見られない。政府の景気対策や消費税増税前の駆け込み需要が期待されているが、いかに取り込んでいくかが問題。
- ◇プレカット…12月の残加工予定が延びた物件があったものの、稼働日数が少なく加工坪数は伸びず。
- ◇段ボール…青果箱が寒さと霜の影響で量が落ちたものの、工業品は前年並みの量が確保できた。株価と円安の効果を期待したい。
- ◇プラスチック製品…取引先から4月以降5%以上の値上げ要請が来ている組合員もあり、現在価格交渉に苦慮している。
- ◇焼物…新年となり心新たに業界を盛り上げていきたい。
- ◇鍍金…受注量、機械の操業度は前年比1割減。自動車・家電関係の受注も1～3割程度の減少。建築用資材は好調。全般的に景況は悪化。先行きの見通

しも良くない。政府の経済対策が当業界に波及してくるのは3～6ヶ月先であるが期待したい。金属材料、工業薬品とも価格は落ち着いている。

- ◇電化機器…当月生産高は753百万円（△15.5%）。自動車関連事業所の生産高減少が著しく前年同月比△26.1%、前月比でも△12.2%。一方、家電関連は堅調に推移し、対前年同月比26.6%増、前月比でも1.8%増となった。
- ◇自動車部品…第2四半期以降、生産高は減少傾向にあり好転の兆しはない。
- ◇工業団地（農機部品）…組合員7社中4社が売上増で、全体では前年同月比101%。市場（得意先の販売動向）はまずまず順調のようであるが、市場は海外中心のため、我々国内生産への反映は感じない。現在国内生産の機種が海外生産に切り替わり受注量減への危惧のほうが高い。

非製造業

- ◇セメント卸…袋セメント出荷袋数は前年比103%、前々年比でも105%と好調。年度末を控え建築工事は底堅く推移しているように思われる。
- ◇水産卸…精算所取扱高は前年同月比4.82%減。消費不振による売上高の低迷で、厳しい状況が続いている。
- ◇食品卸売…所得減、各税の引上げ等、生活防衛から消費不振につながり、青果関係は嗜好品である果実の消費低迷が続いている。良い材料なく厳しい年明けだったが、前年比を微少ながら維持することができた。
- ◇県南地区卸売…総じて売上高減少、収益も悪化。
- ◇県北地区共同店舗…昨年まで売っていた福袋が全く振るわず、確実に欲しい物しか買わない動向の深刻さを浮き彫りにした。
- ◇県央地区共同店舗…衣料系は冬物セールでやや盛り返したが、ヤングの一部は水戸市にある郊外型大型店の増床で集客に苦戦。全体的に見ても月末に向かって売上が伸びず苦戦した。
- ◇県南地区共同店舗…年始明けから急激に売上が下降。全業種で低迷しているが、特にアミューズメント関連が苦戦。
- ◇家電…年末商戦で売上増に転じた反動で軒並み売上減。暖房機器、LED照明、掃除機等は需要が比較的多い反面、テレビ、白モノ家電は一律に売上減少傾向。売上下振れを事由に年末から1月にかけて4店舗が組合脱退。

◇中古自動車…1月は曜日の関係からオークション開催回数が1回多く、出品・成約台数が増え売上は増加したが、1開催当たりの出品台数は△10%と減少。

◇石油…ガソリン販売価格は、原油高と円安により昨年同月比7円上昇。仕入価格の上昇分を完全に転嫁することができず、経営環境は依然として厳しい状況が続いているため廃止・休業等に追い込まれる組合員が増加。

◇ホテル旅館…年始は暦が良かったため宿泊客が多かったが、その後は昨年同月比では減少した施設が大半。地元の新年会に助けられた。風評と不景気のダブルパンチでかなり厳しい状況。

◇自動車整備…組合員事業場の車両入庫状況指数である継続検査台数（持込検査）の前年同月比は、普通車101.3%、軽自動車は101.3%でともに微増。

◇総合建設…行政側の都合で無理な施工の要求や工事中断も起こりえない状況。材料及び職人不足で年度内完工が不可能な工事に対し、休日返上で作業しても追いつかない。

◇交通安全施設…燃料油等の価格上昇が懸念される。

◇県北地区運輸…主要顧客の出荷物量は昨年より減

少傾向。燃料価格の高止まりが続いており収益の悪化が継続。

◇県央地区運輸…月初めは生活用品、食品、雑貨等動きが良かったが後半は悪化。一部の専門商品（医療・メーカー関係）は平年通り。軽油は上がり気味で収益は苦しい。

H25.1月の業界天気図

指数	売上		収益状況	
	前年同月比		前年同月比	
食料品業	☂	▲ 50.0	☂	▲ 33.3
その他業	☂	▲ 30.0	☂	▲ 45.0
卸売業	☁	▲ 25.0	☁	▲ 25.0
小売業 (商店街を含む)	☁	▲ 27.3	☂	▲ 36.4
サービス業	☂	▲ 50.0	☂	▲ 50.0
建設業	☁	▲ 20.0	☂	▲ 40.0
運輸業	☂	▲ 50.0	☂	▲ 50.0
全体		▲ 32.0		▲ 40.0

【天気図の見方】県内情報連絡員が毎月いただいている情報連絡票の景況項目について、「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値(DI値)をもとに作成しています。その基準は、下図のとおりです。

☀	☁	☁	☁	☂
30以上	10~30未満	10未満~▲10	▲10超~▲30未満	▲30以上

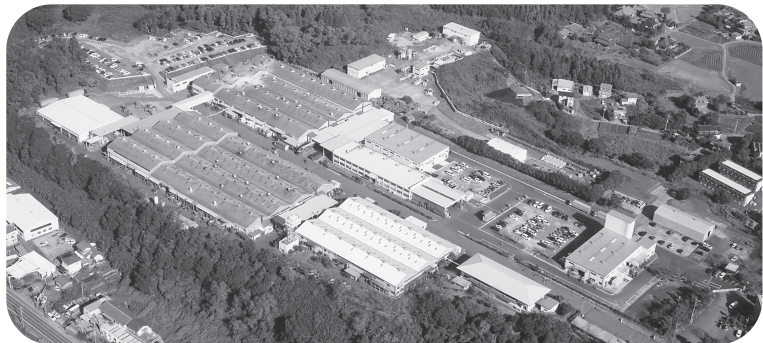
※表の中の数値はDI値

地域社会と地球に“やさしい”企業活動で躍進

新利根工業団地協同組合

ISO14001 環境マネジメント認証団地

《取扱品目》
 農業機械部品
 産業機械部品
 エンジン部品
 通信機器筐体



筑波工業(株) 株しんとね 株三翠社 共和精機(株)
 株大仙工作所 株エナテック 関西精機(株) 興和運送(有)

〒300-1415 茨城県稲敷市中山1307

TEL 0297 (87) 2712

FAX 0297 (87) 2713

理事長 篠原 達夫